

# 提 言 書

平成 2 8 年 8 月 2 9 日  
君 津 市 議 会

## 1 はじめに

急激な少子高齢化や医療の高度化などにより全国的に医療費は増加しており、このことは君津市においても例外ではない。こうした中、早期発見、早期治療を目的とする各種がん検診の受診率向上や健康増進モデル事業といった楽しみながら、長続きする健康づくりの推進は、医療費などの支出の削減、抑制効果が期待される。

そこで新たな健康づくり事業を提言するものである。

## 2 提言

日々の運動や食事などの生活改善において自己計画目標を達成できた場合や、健康診断の受診、健康講座に参加した場合にポイントを付与し、一定ポイント以上になった市民が特典を受けられる「健康マイレージ」制度の導入を提言する。

- (1) ポイント獲得については、市が実施する健康に関する事業への参加のほか、日々の生活行動でも獲得ができるようにすること。
- (2) 商工会議所会員等、市内の事業者に協力を得て、市内経済の活性化に繋げる取り組みとすること。
- (3) 君津市の財政状況に鑑み、予算措置をできる限り必要としない取り組みを目指すこと。

## 3 調査研究の内容

### 3.1 本市の現状

平成23年9月3日、市民全ての願いである健康でいきいきと心豊かに暮らせるまちを目指し、健康都市宣言が行われた。また、高齢者が介護を必要とする状態にならないで健康でいきいきとした生活ができるように一人ひとりの体力に合わせた健康増進モデル事業の実施やラジオ体操を活用し生涯健康な生活を営むことのできる体づくりを推進している。さらに、各種がん検診の無料化、検診受診の啓発活動等も実施している。

### 3.2 課題

平成18年度から実施している健康増進モデル事業は、平成28年8月に西原二自治会が開講したことで100会場となるなど、より市民に身近な事業となっているものの、登録者数は平成28年3月末で1,874人と対象者（60歳以上）全体の約

6 パーセントに留まっている。また、各種がん検診の受診率についても、近年の受診率はほぼ横ばいである。

こうした健康増進に向けた取り組みについては、さらに多くの市民に参加・受診していただけるように、内容や周知方法について、今一度検討すべきである。今後は、市から市民に対して健康増進への取り組みを働きかけるだけでなく、市民が自ら積極的に取り組む施策と演出、また、きっかけづくりをしていくことが必要である。

#### 4 おわりに

健康マイレージ制度のメリットは、多額の初期費用を必要とせず、市民の自主的な健康行動を促進することができる場所である。また、特典に協賛する市内事業者は、健康マイレージ制度の普及が宣伝・集客にもつながり、地域経済の活性化も期待される。

健康都市宣言のまち・きみつとして、市民の健康維持に責任を持ち、健康づくりを通し健やかな人・まちづくりを推進するために、健康マイレージ制度の活用を図られたい。